

LIVEN Lofi-12 v2.1 アップデートガイド

LIVEN Lofi-12 のアップデートは **USB-MIDI インターフェイス** を使用して行います。

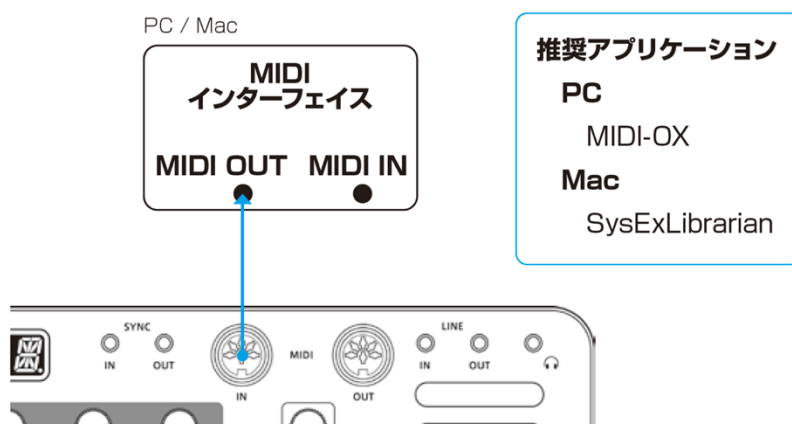
動作確認済み製品：Roland UM-ONE mk2, Yamaha UX-16, iConnectivity mio

MIDI 端子を搭載した USB オーディオ・インターフェイス や USB-MIDI 機能を持った SmpITrek v2.0 等の電子楽器でも行えます (MIDI システム・エクスクルーシブ・メッセージの転送に対応している機器に限ります)。

準備

用意した USB-MIDI インターフェイスの取扱説明書に従い、PC/Mac に接続して USB-MIDI 設定を行ないます。

そして、**USB-MIDI インターフェイスの MIDI OUT と Lofi-12 の MIDI IN** を MIDI ケーブルで接続します。



また、PC/Mac に以下のアプリをダウンロードしてインストールする必要があります。

【PC の場合】

MIDI-OX アプリを下記 URL からダウンロードしてインストール。

<http://www.midiox.com/>

【Mac の場合】

SysEx Librarian アプリを下記 URL からダウンロードしてインストール。

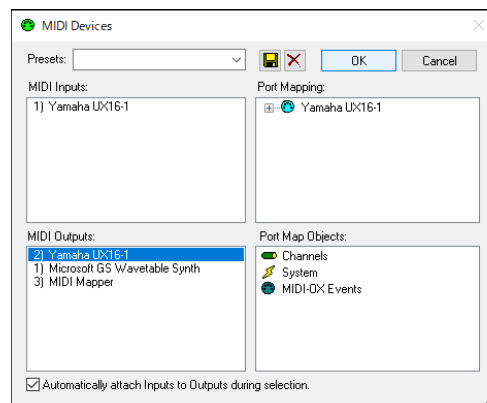
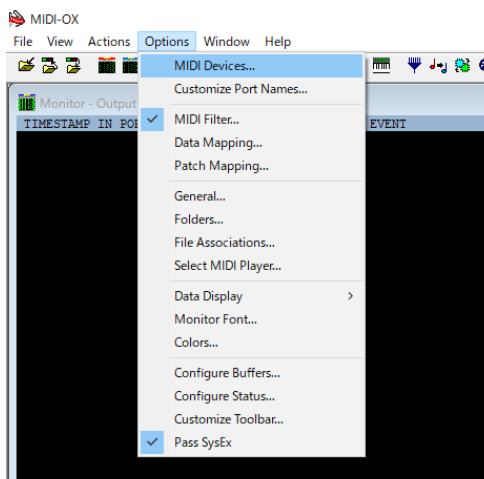
<https://www.snoize.com/SysExLibrarian/>

[注意] アップデート作業は、新品の電池もしくは AC アダプターをご使用ください。
ファームウェアのアップデート中は、絶対に電源を切らないでください。

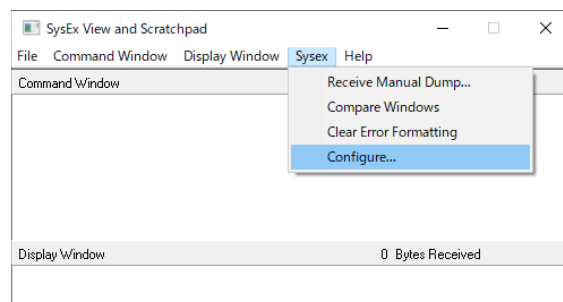
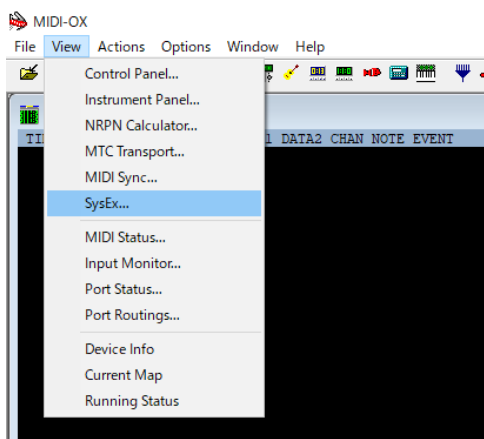
ファームウェアのアップデート

【PC の場合】

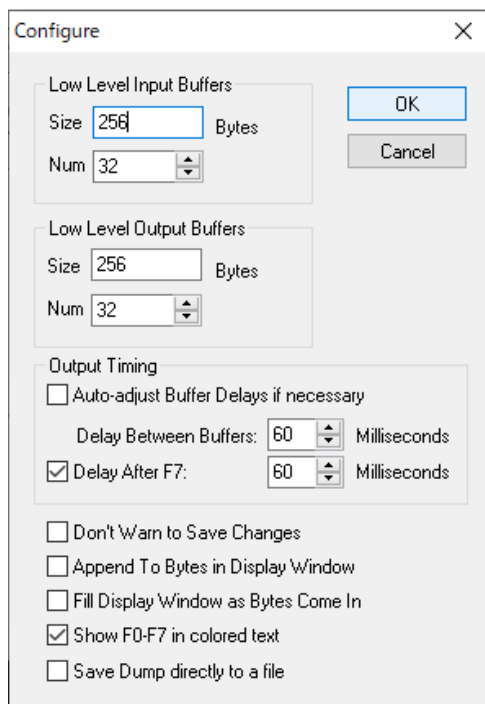
- 1 Lofi-12 の **shift** ボタンを押しながら、POWER スイッチを長押し。
Lofi-12 が起動し、ディスプレイに **UPDT** と表示されます。
- 2 MIDI-OX アプリをダブルクリックして起動。
- 3 Options メニューの **MIDI Devices...** で、PC に接続した USB-MIDI インターフェイスを選択。



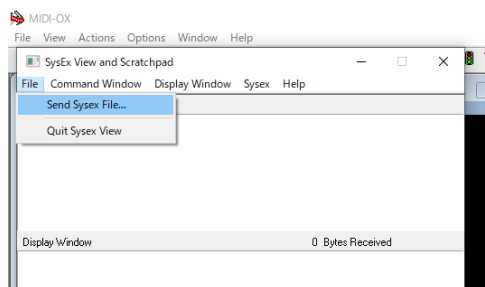
- 4 View メニューの **SysEx...** で、開いたウィンドウの **Sysex** メニューから **Configure...** を選択。



5 Configure を次のように設定。



6 File メニューの **Send Sysex File...** で、Firmware ファイル **LIVEN_LOFI_SYSTEM_2_x_xx.syx** を選択して **OK** をクリック。



データの送信が開始されます。

Lofi-12 のディスプレイに **RCV** と表示され、ステップ LED がデータ送信の進行状況を示します（全て点灯したら送信完了です）。

7 送信完了後、Lofi-12 の **OK** ボタンを押してアップデートを実行。

ステップ LED が点灯し進行状況を示します。

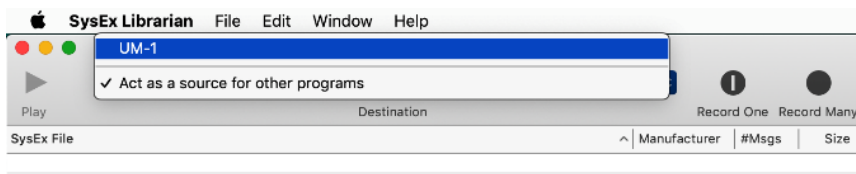
アップデートが正常に行われると **OK** と表示されます（異常があった場合は、P.6 のエラーコードが表示されます）。

8 Lofi-12 を再起動。

ファームウェアのアップデート

【Mac の場合】

- 1 Lofi-12 の **shift** ボタンを押しながら、POWER スイッチを長押し。
Lofi-12 が起動し、ディスプレイに **UPDT** と表示されます。
- 2 Firmware ファイル **LIVEN_LOFI_SYSTEM_2_x_xx.syx** をダブルクリック。
SysEx Librarian アプリが起動します。
- 3 **Act as a source for other programs** をクリックし、Mac に接続した USB-MIDI インターフェイスを選択。



- 4 **Play▶** をクリック。
データの送信が開始されます。

Lofi-12 のディスプレイに **RCV** と表示され、ステップ LED がデータ送信の進行状況を示します（全て点灯したら送信完了です）。
- 5 送信完了後、Lofi-12 の **OK** ボタンを押してアップデートを実行。
ステップ LED が点灯し進行状況を示します。

アップデートが正常に行われると **OK** と表示されます（異常があった場合は、P.6 のエラーコードが表示されます）。
- 6 Lofi-12 を再起動。

プリセット・ドラムキット・サンプルのインポート

- 1** Lofi-12 の **func** ボタンと **SAMPLE** キーを押し、SAMPLE & EDIT モードに入る。(→マニュアル P.40)
- 2** ドラムキット・サンプルをインポートするスロットを **VALUE** ノブで選択。
鍵盤を弾いて選択スロットのサンプルを試聴できます。
- 3** **OK(→EDIT)** ボタンを押してエディットへ入る。
ディスプレイに **EDIT** と表示された後、全てのステップ LED が点灯して、データの受信待機状態になります。
- 4** **【PC の場合】 MIDI-OX アプリ、【Mac の場合】 SysEx Librarian アプリ**でドラムキット・サンプルの syx ファイルを開く。
上記の **ファームウェアのアップデート** を参考にしてください。
- 5** アプリのデータ送信を開始。
Lofi-12 はデータを受信しますが、状態は変わりません。

送信が完了すると、ディスプレイに **RCV** と表示された後、インポートしたサンプル名が表示されます。
- 6** **OK(SAVE)** ボタンを 2 回押して保存。

上記手順を繰り返して、必要なサンプルファイルをインポートしてください。
CLR(EXIT) ボタンを押すと、通常モードに戻ります。

プリセット・ドラムキット・サンプルの設定

サンプルの選択でドラムキット・サンプルを選択し、**func** ボタンを押しながら **MODE [VOICE]** ボタンを数回押して **DRUM** を選択します。
左端から 8 つの白鍵でドラムキットが演奏できます。
(→マニュアル P.38)

トラブルシューティング

エラーコード

<システム関連>

ER.10 : システムエラー

ER.11 : Low Battery

<データ受信関連>

ER.20 : データ受信エラー

ER.21 : 不正データ

ER.22 : アップデート不要 (Boot)

<アップデート関連>

ER.30 : アップデート失敗

アップデート後のシステムの状態は、ページキー等の LED の点灯でも確認できます。

(正常 : 緑、異常 : 赤)

PTN キー : プリセット、1/3 キー : メイン、2/4 キー : ブート

ファームウェアのアップデートに失敗した場合は、バッファサイズや送信速度を調整して syx ファイルを再送信してください。

【PC の場合】

Configure の設定で Low Level Output Buffers の Num と Size の値を 2 倍にして送信してみてください。

うまく行かない場合は、Output Timing の Delay Between Buffers と Delay After F7 の値を 2 倍にしてみてください。

【Mac の場合】

Preferences で Transmit Speed の速度を下げてください。

うまく行かない場合は速度をさらに落としてみてください。